中高生礼拝5月①

「統一原理を学ぼう」

皆さん、こんにちは。きょうは「統一原理を学ぼう」という題目で、説教をします。

統一原理に対して、皆さんはどんな印象を持っていますか？ 原理講義を聞いてきた経験も多いかもしれませんね。皆さんの中には、「原理は難しい」あるいは「原理講義は苦痛だ」という思いを持っている人もいるかもしれません。

しかし、統一原理は私たち、また人類にとってとても大切なものです。きょうは統一原理がなぜ重要なのか、原理は何を伝えるものなのかを学びたいと思います。

統一原理の目的と構成

まず、統一原理がなぜ必要なのか、その結論から言いましょう。

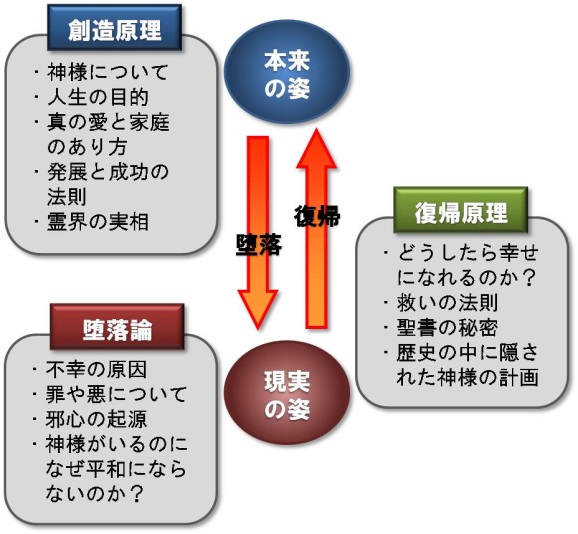
それは、人間のあらゆる不幸の原因を解明し、どのようにしたら幸せになれるのかを教えてくれる理論だからです。『原理講論』の一番はじめの部分を読んでみましょう。

**人間は、何人といえども、不幸を退けて幸福を追い求め、それを得ようともがいている。個人のささいな出来事から、歴史を左右する重大な問題に至るまで、すべては結局のところ、等しく、幸福になろうとする生の表現にほかならないのである。**

**（『原理講論』総序p.21）**

このように「人間は幸福になろうとしている！」と、ズバッと人間の真理をまず述べているのです。統一原理は、ここから人間が幸せになるために、理論が展開していきます。

それでは、統一原理はどのような構成と展開になっているでしょうか。その章を見てみると、総序、創造原理、堕落論、終末論、メシヤ論、復活論、予定論、キリスト論、復帰原理というようになっています。

これを、簡潔に大きな流れで見ると、創造原理、堕落論、復帰原理という内容になります。

創造原理で、人間がどのように生まれ、どのような存在であったはずなのかという本来の姿を学びます。

次に堕落論で、人間が本来の姿となることができず、現在の姿になってしまった原因と状態について学びます。

そして、復帰原理で、どのようにしたら人間が本来の姿、幸せな状態になることができるのかを学びます。

人が病気になったときのことを考えてみると分かりやすいと思います。健康な状態だったのが病気になっておかしくなり、それをどのように本来の健康な状態に戻すか、という治療になりますね。これを私たち人間の親なる神様（天の父母様）の立場から見ると、愛する子供が本来の状態から命に関わる重大な病気になり、それをどうにかして治してあげようと命懸けで一生懸命になっている、ということです。

この大きな流れを理解すると、統一原理の理解がよりスムーズになると思います。

創造原理

皆さんは、創造原理の講義で、「二性性相」、「授受作用」、「四位基台」といった言葉を聞いたことがあると思います。これらは、神様（天の父母様）がどんな世界をつくりたかったのか、その本来の願いを表現した一つ一つの内容なのですね。

例えば、二性性相は、全てのものが陽性・プラスと陰性・マイナスに分かれているということ、そして全てのものが心と体のようなものを持っているということですが、ここに神様（天の父母様）の願いがあります。皆さん、なぜプラスとマイナスに分かれなければならないのでしょうか？ 男性と女性がいると、お互いに違い過ぎて争いごとになったりもします。皆さんの学校のクラスでも、男子vs女子という構図が生まれやすいのではないでしょうか。

しかしそれは、神様（天の父母様）が、真の愛を中心として発展する世界を創りたかったからなのです。全てのものが計画通りに最初から最後まで同じ状態であるというのは、おもしろくない世界ですよね。神様（天の父母様）はそうではなく、一人の男性と一人の女性が神様（天の父母様）の祝福の下で一つになれば、そこに子供が生まれて、その子供がまた将来パートナーと出会ってその子供が…というように、プラスとマイナスが真の愛で一つになることで、発展する世界を創りたかったのです。それは、神様（天の父母様）ですらびっくりする世界です。そこに喜びがあり、幸せがあるのですね。

堕落論

堕落論では、創造原理で神様（天の父母様）が願った世界が実現されず、人間は本来の位置から落ちてしまったということを学びます。その原因となったのが、聖書で言うエデンの園における失楽園の物語です。神様（天の父母様）に代わってサタンが人間を子供として支配するようになりました。そして、その結果、人間がどのような状態になったのかを学びます。原理講義の中で、「原罪」「遺伝的罪」「連帯罪」「自犯罪」という言葉を聞いたことがあるでしょう。また「堕落性本性」という言葉も出てきます。これらは人間が堕落した結果を表しているのです。

つまり、人間は神の子として真の愛に生きる素晴らしい存在だったはずなのに、自己中心的になり、人に思いやりを持つことができなかったり、人を傷つけたりしてしまう存在になってしまったということです。そのようにして、人間は不幸の存在となり、不幸の歴史と世界をつくってしまいました。今を生きる私たちの中にも、戦争や争いがあり、そして自分の中に、人を許せない、愛せないという闘いがあると思います。

復帰原理

しかし、親なる神様（天の父母様）は、子供である人間を不幸なまま放っては置かれませんでした。

本来の幸せな状態になることができるように、必死に人間を取り戻す闘いを続けてこられたのです。それをどのようにしてこられたのかを教えるものが、復帰原理です。

神様（天の父母様）は人間を、歴史の期間をかけて救おうとして来られました。ですから復帰原理では、その歴史一つ一つを学んでいくことになります。アダムの家庭から始まり、ノアの家庭、アブラハムの家庭、モーセ、イエス様の歩み。更にその後は人類の世界の仕組みが複雑になってきます。ですから、復帰原理を学ぶとき、どこか歴史の勉強のようにも感じられ、苦手意識を感じる人もいるかもしれません。しかし、その歴史の一つ一つの中に、神様（天の父母様）が必死に人間を救おうと闘ってこられた軌跡があるということを知っていってもらいたいと思います。

統一原理は神様（天の父母様）の心情を伝えるもの

ところで、神様（天の父母様）の立場から原理を捉えてみると、そこにはわが子である人間を思う神様（天の父母様）の心情が溢れていることがわかります。創造原理には、神様（天の父母様）の喜びや希望の心情が描かれています。

神様（天の父母様）が、どれほど人間のことを愛し、幸せになることを願われたか。そのための自然万物世界をどのように創造されたか。どんなに人間の喜ぶ姿を見たかったかが、表現されています。

堕落論は、神様（天の父母様）の悲しみと苦痛を伝えます。神様（天の父母様）は、どれほど人間を愛していたかわかりません。そんな人間が、最後の最後で神様（天の父母様）を裏切り、自分の子ではなくサタンの子となり、不幸のどん底に陥ってしまったのです。その神様（天の父母様）の悲しみと苦痛が痛いほど表現されています。

復帰原理は、神様（天の父母様）の苦労の心情が描かれています。人間を取り戻すために、神様（天の父母様）は絶え間なく精誠を捧げられました。人間に「神様なんていない」「神様は人間が都合よくつくった想像物」だと否定されても、それでも人間一人ひとりを愛し続けた歩みでした。

このように、統一原理は、神様（天の父母様）の心情を伝えるものなのです。原理には、神様（天の父母様）がいかに人間を愛し続けたかの物語が描かれています。統一原理は、神様（天の父母様）の愛の物語だとも言えるのです。

統一原理を苦労して解明された真のお父様

このような統一原理は、決して簡単に世の中に出てきたものではありません。『原理講論』には、「人間を命の道へと導いていくこの最終的な真理は、いかなる教典や文献による総合的研究の結果からも、またいかなる人間の頭脳からも、編みだされるものではない」（『原理講論』総序p.37）と書かれています。真のお父様が、長い年月をかけて精誠を尽くし続けて解明されたのです。お父様が15歳から20代前半までの頃でした。

お父様はどのようにして原理解明をされたのでしょうか。お父様のみ言を紹介します。

**神様がいるのか、いないのか、どれだけ考えあぐねたことか、わかりますか？ 私の手でそれを解決しなければならなかったのです。…そのために私はすべてのことを知らなければなりませんでした。人間は進化して生じたのですか？ 猿の後孫なのですか？ …そのように根本からかき分けていったのです。**

**…神様はどうして人間を創造されたのかということの問題を解かなければなりませんでした。そのように身悶えして、やっと人間の責任分担5％という言葉が出てきたのです。皆さん、責任分担という言葉がただ出てきたと思いますか？**

**結果主管圏や、直接主管圏という言葉が、空想家の妄想のように生じたと思いますか？ 学者たちが字を書くように書いたと思いますか？ とんでもありません。このことを探し出すためにはどんなに身悶えして、命を懸けて戦ってきたのか知っていますか？**

**（1989.2.12）**

**文総裁はこの原理を探すために、満身創痍になって、一日に12時間も14時間も祈祷したことが何年も続きました。その悲惨な姿を、皆さんは知っていますか**

**（1990.12.29）**

**真剣な準備をした。人と会わなかった。1分しゃべれば、その流れた心情を取り戻すのに3週間、3ヶ月かかった。だから語らなかったんだ。語れば流れる。だから深刻な準備をしたよ。…関係を持てば、じゃまになる。心を許せば3週間を失ってしまう。それが内的世界の法則だ。一言の過ちで半年以上も蕩減条件をかけねばならない。勝手に口をきいて話さない。そういう道を越えてきたんだ。だから友達は何も知らない。あまりにも平々凡々で、庶民的であるし、口を閉めたから、誰もわからなかった。**

**（1981.7）**

このように、統一原理は正に真のお父様が命を懸けて解明されたものです。

統一原理を学ぶ私たちの姿勢

お父様は、そんな苦労して解明された原理を、一番先に誰に伝えたかったでしょうか？

皆さんだったらどうですか？ 人間が幸せになるための真理を、誰に一番に伝えたいでしょうか？ それは、自分にとって一番大切な人に違いありません。きっとそれは、自分の両親、兄弟、子供、といった家族でしょう。お父様もまた、この原理を一番先に愛する親に伝えたいと思われたと言います。しかし、そうすることができなかったお父様でした。お父様のみ言から学んでみましょう。

**先生はね、自分を愛する親を持っている息子なんですよ。その親の息子なんですよ。誰も持たざるような心情でもって愛される環境に育てられた。**

**…そこまで先生を愛した親よりも、兄弟よりも、君たちに先にこの原理を宣べたかったんですね。一番貴い生命をかけて探したその原理を、何も知らない第三者に対して真心込めてやらなければならない。**

**…先生は、そのぐらい愛する母に対して、手拭い一本も買ってあげなかった。先生のお母さんは苦労した。世間的に見ればね、親不孝の至りだ。しかし、先生は親不幸じゃない。…天が認める孝行者になってやる。**

**（1965.10.3）**

**原理の本には血と汗と涙が絡み合っています。1ページごとににじんだ先生の血と汗が、皆さんのような若者たちに訴えているということを知らなければなりません。**

**先生が、青春を犠牲にして投入したのです。血と涙が皆さんに訴えているというのです。**

**（1990.2.15）**

このように、私たちは真の父母様から教えていただいた統一原理によって、愛されているということを知ることができるでしょう。

皆さん、統一原理の価値をよく知って、私が神様（天の父母様）を知るために、そして人生を幸せに生きるために、大切に学んでいってもらいたいと思います。

きょうは「統一原理を学ぼう」という題目で説教をいたしました。以上で説教を終わります。ありがとうございました。